

第2回

多摩市道6-10号歩線 (鶴牧東公園沿い遊歩道)

意見交換会の実施結果

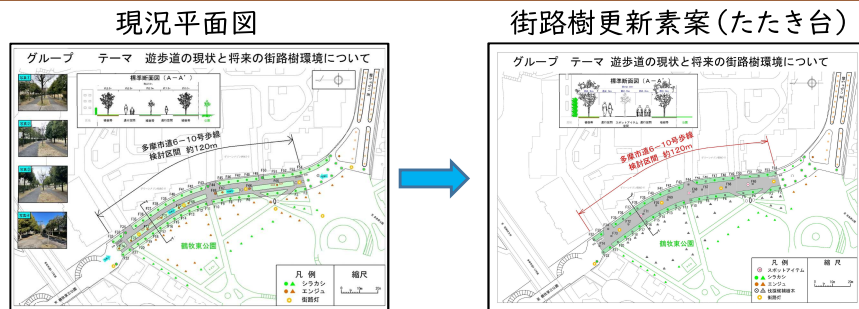
1. 開催概要

街路樹環境更新の手法について、第1回意見交換会の結果を踏まえ作成した街路樹環境更新素案(たたき台)を提示し、皆さんと意見交換を行いました。

- ・日時 令和5年5月27日(土) 10時00分~12時30分
- ・会場 からきだ菖蒲館
- ・参加者数 5名(ワークショップ形式)

2. 街路樹環境更新素案(たたき台)について

第1回意見交換会を踏まえた主な内容



- ・樹勢が衰え倒木リスクがあるため、中央の樹木(エンジュ)は伐採
- ・中央の植樹帯はアスファルト舗装化し、スポットアイテム空間を確保
- ・持続可能なみどりを形成するため、両脇の樹木(シラカシ)は1本おきに間伐

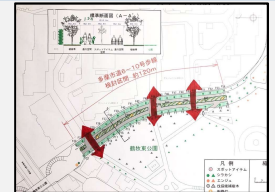
素案(たたき台)イメージ図



3. 意見交換の主な内容

会場に実寸大の通行空間やスポットアイテム空間を再現して検証しました。

ワークショップの状況



安心・快適なみちづくりについて

◎幅員構成について

- ・現状の3列の植樹帯から変える必要はないのでは。
- ・植樹帯があると自転車等は避けられないため、すれ違える幅員が必要。
- ・植樹帯内の雑草が生えなければ植樹帯はあってもよいのでは。
- ・植樹帯があれば通行の仕切りになるが、別の方法で誘導できるので無理に設置する必要はないのでは。

◎スポットアイテムについて

- ・中央にサークルベンチを置くと足がはみ出て通行の支障になりそう。
- ・ベンチは色々な人が使うので必要。
- ・樹木を伐採した後の切り株をベンチにするのはどうか。
- ・切り株はスズメバチの巣にもなるのでやめた方が良さそう。
- ・花壇やプランターを置いてほしい。
- ・防災機能のあるベンチを公園側に設置してはどうか。

持続可能なみどりの形成について

◎樹木の伐採(間引き)箇所について

- ・樹木の間隔が狭く感じるため、間伐は必要だと感じる。
- ・公園側は全部伐採してもよいと思う。
- ・集合住宅側の樹木は西日除けになる。
- ・公園側は空が開けて光が差すように多めに間引く。
- ・樹木が鬱蒼と茂っていて、道が暗くて怖い。

◎植栽候補について

- ・花が咲く樹木が良いと思う。
- ・樹形が広がらない樹木が良い。
- ・樹木にこだわらず、プランターや花壇を設置すれば人が集まるのでは。
- ・土壌の状態を考えて植栽するべき。
- ・中央の樹木は伐採後、伐根せず萌芽更新させるのはどうか。

多様な主体との連携について

◎アダプト活動について

- ・集合住宅側にもアダプト活動できるようなスポットがあったら良いのでは。
- ・市民がアダプト活動しやすいように市から働きかけてみては。
- ・近隣住民に働きかければ協力してくれそう。

◎公園との一体性について

- ・公園側の街路樹を伐採し、公園内に通路を設けるのはどうか。
- ・鶴牧東公園を防災公園として活用できるようにする。
- ・道路と公園に境がないようにしてほしい。